



2014年10月31日

国連世界観光機関（UNWTO）

世界観光指標（World Tourism Barometer）2014年10月号

本報道発表の原文（英語）は、下記リンクにてご覧いただけます。

世界観光指標原文（英語）は、下記リンクにて抄録（無償）及び全文（有償）をご覧いただけます。

<http://mkt.unwto.org/barometer>

力強さを維持する国際観光

PR No.: PR 14071
マドリッド
2014年10月30日

最新の UNWTO 世界観光指標によると 2014 年の 1 月～8 か月までの世界の国際観光客到着数は 5% 増加となった。地政学的な課題及び経済の回復にばらつきがあるにも関わらず、北半球における 6 月から 8 月までのハイシーズンにおいて観光需要は力強いものとなった。

世界を旅する 2014 年 1 月～8 月までの国際観光客（一泊以上の訪問者）は、2013 年の同期比で 3,600 万人の増加となり 7 億 8,100 万人に達した。国際観光客到着数は 5% の増加となり、これは UNWTO の 2010 年～2020 年間の長期予測（3.8% 増）を超えた。ピークシーズンである 6 月、7 月、8 月は一年全体の三分の一に相当し、2013 年の同期比で 4% の増加となった。

地域別では、米州（8% 増）が最も力強く伸び、これにアジア・太平洋（5% 増）、ヨーロッパ（4% 増）が続いた。準地域別では、北アメリカ（9% 増）南アジア（8% 増）が著しく伸び、南・地中海ヨーロッパ、北ヨーロッパ、北東アジア及び南アメリカ（全て 7% 増）も同様に伸びた。

UNWTO タレブ リファイ事務局長は「国際観光客到着数は増加するグローバルな課題に関わらず、期待を上回り成長した」と述べたが、「しかし世界経済は、増加する地政学的な不確実性及び低下の兆候を示し、不規則な成長をみせていることに注意する必要がある。」と付け加えた。

西アフリカのエボラ出血熱の発生による観光への影響に関し、「この発生が観光部門に与える総合的な影響について評価をするには尚早であるが、現時点においては世界の観光部門における大きな影響は想定していない」と述べた。

各国で伝染が広がっているデスティネーション（リベリア、ギニア、シエラ・レオネ）からの国際観光客到着数はアフリカのデスティネーションにおいて 1% 以下を示している。そして、私たちはこの発生がアフリカ全域に影響しているという誤解に気づく必要がある。しかし、良い面は、アフリカの加盟国や主要な送客市場にあるツアーオペレーター及び団体から得た情報によると、確かに予約が減少しているが、大規模な中止は報告されていないということである。」

リファイ氏は、2014年10月23日に開催の世界保健機関（WHO）2014年の西アフリカエボラ出血熱流行による第3回国際保健規則(IHR)緊急委員会を振り返り、「国際旅行や貿易の禁止をすべきではないとの勧告があった。」ことを強調した。

「最も重要なことは、国際的な取組みで影響を受けている国々にこの発生を防止するよう支援し、世界保健機関（WHO）の勧告が実施されまた誤解、恐怖に立ち向かえるよう、常に迅速に明白で最新の情報を提供し、全ての地域に影響が波及することを避けるべきである。」と述べた。

2014年の成長を牽引する米国

米州（8%増）は2014年の初めの8か月間で昨年の控えめな結果から回復し、伸びを牽引した。全ての4つの準地域—北アメリカ、カリブ海、中央アメリカ、南アメリカにおいて2013年の成長率の2倍となった。

アジア・太平洋における国際観光客到着数は5%成長し、南アジア（8%増）、北東アジア（7%増）がこの伸びを牽引し、またオセアニア（6%増）が続き、近年の伸びを強固なものにした。一方で東南アジア（2%増）の到着数の伸びは2012年及び2013年の優れた結果に比べ緩やかとなっている。

地域別で最も到着数が多いヨーロッパの8月までの国際観光客到着数は、北ヨーロッパ及び南地中海ヨーロッパ（それぞれ7%）の著しい結果により4%の増加を見せた。またこれと反対に、西ヨーロッパ（3%増）では成長は緩やかであり、中央・東ヨーロッパ（1%減）で停滞を見せた。

アフリカの国際観光客到着数は北アフリカの堅調な回復（4%増）により3%の成長を見せた。サハラ以南地域は3%の増加であった。

中東の国際観光客到着数は限られた入手可能なデータであるため留意を要するが3%増を予測している。

送客市場としての主導的地位を強化する中国

2014年初めから6月または9月までの海外旅行における支出データにおいて、国際観光支出のトップ10の内、最高の成長率を示したのは中国（16%増）であるが、フランス（10%増）、イタリア（8%増）、米国（6%増）、ブラジル（5%増）、そしてロシア連邦（4%増）が同様に強固な成長を見せた。国際観光支出における25の送客市場において、2桁成長を記録したのはインド（31%増）、ノルウェー（22%増）、スウェーデン（12%増）、台湾（中国）（11%増）及び韓国（10%増）であった。

まもなく予想値を上回る2014年

2014年の通年の国際観光客到着数は、4%～4.5%増加すると期待されており、2010—2020年のUNWTO長期予測であるの年3.8%の成長率を超えることが予想されている。

最近の地政学及び健康問題、健康上のリスクのため、UNWTOコンフィデンス指数によるといくぶん弱い傾向にあるが2014年の9月～12月までの予測について51%の回答者が「はるかに良いまたはより良い」と回答し、35%が「かわらない」、14%が「はるかに悪い又は悪い」と回答した。

○**UNWTO World Tourism Barometer (UNWTO 世界観光指標「バロメーター」)**とは

UNWTO 世界観光指標（「バロメーター」）は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UNWTO 本部から、年 6 回を目処に公表されます。UNWTO アジア太平洋センターでは、本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

○**国連世界観光機関 (UNWTO) アジア太平洋センターについて**

UNWTO は、1975年1月に観光に関する国際機関として設立され、2003年に国連の専門機関に移行した観光に関する世界最大の国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

UNWTO アジア太平洋センターは、UNWTO 唯一の地域事務所として、1995年に設立され、2012年12月に奈良へ移転しました。同センターではアジア太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

(お問い合わせ先)

国連世界観光機関(UNWTO)アジア太平洋センター

(一般財団法人アジア太平洋観光交流センター)

担当：藤永、藤井、吉田

電話：0742-30-3880 Fax：0742-30-3883

E-mail: info@unwto-aptec.org